

## 11 区行政改革に関連する区予算

### 区行政改革の推進

本市では、市民にとって身近な行政機関である区役所が、これまでの窓口サービスの提供に加え、地域社会が抱えるさまざまな課題を市民との協働により解決できる「市民協働拠点」になることをめざして、区行政改革を推進しています。

### 区予算の充実

区行政改革の考え方にに基づき、区役所が、市民の利便性及び窓口サービスを向上させるとともに、地域の総合的な視点から、より主体的に地域の課題解決や市民との協働を推進できるよう、区の計画及び事業を充実しています。これらの予算は、主に(款)区役所費に計上しています。



### 1 区行政改革に関連する主な区予算

#### (1) 協働推進事業費【区役所費】

地域社会が抱える課題の解決や地域特性を活かしたまちづくりを推進するため、区民の参加と協働を重視しながら、区役所が自主的に企画立案し実施する予算です。なお、平成20年度予算から、広告収入等の特定財源を協働推進事業費に充てることになりました。

#### (2) 区の課題解決に向けた取組みの予算【各款】

区の課題解決に向けた取組みの予算は、平成18年度から施行した「区における総合行政の推進に関する規則」に基づき、地域からの総合的な視点を活かした事業を推進するため、区役所が主体的に関係局と調整を行い、関係局又は区役所が事業を実施するための予算です。

#### (3) 区民会議開催経費【区役所費】

区民会議は、まちづくりの主役である区民が委員となり、区民に身近な地域社会の課題について、参加と協働による解決を図るための調査審議を行います。区民会議を通じて、行政、区民及び関係団体等の役割分担による課題解決の実践活動につなげ、地域の特色を活かした暮らしやすい地域社会の形成をめざします。

#### (4) 区役所転出入窓口の土曜日開設事業費【各款】

近年の核家族化の進展、単身世帯や共働き世帯の増加など、社会状況の変化に伴い、区役所窓口の土日開設を求める声が寄せられています。そのため、転出入などを受け付ける窓口を毎月第2・4土曜日に開設して市民の来庁機会を拡大するとともに、休日明けの月曜日に集中する来庁者数を平準化し、窓口の混雑を緩和するなど、市民サービスの向上を図ります。

#### (5) 区役所等庁舎整備事業費【区役所費】

区役所、支所、出張所庁舎について、設備の更新等を行い長寿命化を図るとともに、庁舎のバリアフリー化や内外装の改修など、地域振興の拠点として相応しい機能の整備を計画的・効率的に進めていきます。また、幸区役所庁舎の整備に向けた取組みを進めていきます。

## 2 区行政改革に関連する主な区予算の内訳

(単位:千円)

科目・事業名	平成20年度	平成19年度	増減
(款) 区役所費	9,806,354	9,549,353	257,001
協働推進事業費	385,600	385,000	600
一般財源(1区あたり)	55,000	55,000	-
特定財源(7区合計)	600	-	600
区民会議開催経費	40,562	35,583	4,979
平均(1区あたり)	5,795	5,083	712
区役所等庁舎整備事業費	25,074	-	25,074
(各款)			
区の課題解決に向けた取組みの予算	601,694	556,240	45,454
事業数	22事業	18事業	4事業
区役所転出入窓口の土曜日開設事業費	37,205	25,290	11,915

### 新実行計画 ～ 区計画の充実～

区役所が、より主体的かつ計画的に地域の課題解決及び市民サービスの向上に取り組めるよう、新実行計画では区計画を充実しています。

新実行計画の区計画では、区役所が主体的に企画・実施又は調整する事業を、基本構想の体系ごとに、3カ年の実行計画としてまとめています。特に、協働推進事業費で実施する事業については、従来は単年度計画でしたが、新実行計画では3カ年計画を策定し、必要な計画事業費を積み上げられるようにすることで、より計画的な取組みができるようになりました。

これまで、協働のしくみづくりや予算についての区役所機能の強化を進めてきましたが、区計画の充実を契機として、事業のPDCA(計画・実行・評価・改善)のサイクルをさらに確実なものとし、参加と協働による市民自治のまちづくりを進めて行きます。

